

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を  
Engage Rotary Change Lives



個々の価値観を尊重し  
自らロータリーを楽しもう

国際ロータリー会長 ロンD. バートン

2013~2014

富津中央RC会長 須藤 隆

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## No.2320 第19回例会 2013. 11. 14 晴

点 鐘：須藤 隆 会長

進 行：大網庄一郎 SAA

ソング：奉仕の理想

お客様：第2790地区ガバナー 関口徳雄 様

第4分区ガバナー補佐 堀内正一 様

### 会長挨拶

須藤 隆 会長



皆さんこんにちは。

本日は関口ガバナー、堀内ガバナー補佐には当クラブのためにご訪問いただき有難うございます。後程ガバナーから訓話を頂き、例会終了後には協議会が予定されています。宜しくお願い致します。

例年のガバナー公式訪問での協議会は活動計画書及びその進捗状況を各委員長が発表し、それに対してガバナーが講評を加える形態で行われておりましたが、今回はすでにガバナーに提出されております「クラブ活動計画書」、「効果的なクラブとなる活動計画の指標」並びに「ガバナー補佐からの

当クラブに関する報告書」の3点セットを、事前にガバナーが把握され、それらをベースに会員との討論に臨みたいとのガバナーのご意向が堀内ガバナー補佐から伝えられております。

今日の協議会をぜひとも会員とガバナーとの活発な意見交換場にし、ガバナーとざっくばらんに会話のできる有意義な協議会としたいと思います。

さて、11月9日、10日の二日間にわたり1年の活動を総括する地区大会が開催されました。1日目は会長・幹事が本会議並びに RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会に出席をいたしました。2日目は総勢1700名の参加者があり、当クラブからは10名の会員が出席しました。

大会は RI 会長代理の出身国の台湾国歌並びに日本国歌の斉唱に始まり、1日目の RI 会長代理の「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」と題した講演、クラブ表彰(当クラブは会員増強に対する表彰を受けました。)、2日目は RI 会長メッセージ、ガバナーの地区現況報告、個人表彰、青少年交換学生の卓話、東国原氏の講演等それぞれ盛りだくさんの内容で、アトラクション等もあり、大変盛大に行われました。

地区大会が終わるとロータリーは新しい年度に軸足が移ってまいります。しかし私たち年度はまだ1/3が過ぎたばかりです。これからも年間プログラムを着実に実行してまいりたいと思いますのでよろしくお願ひします。

〒293-0042 富津市小久保2868  
さざ波館 Sazanami-kan  
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,  
Zip code 293-0042  
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304  
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



## 会長報告

11月21日の例会には、米山奨学生の卓話が予定されておりますが、それに加えて、私どもの親クラブである木更津 RC の会長・幹事が私どもクラブを表敬訪問されることになっておりますのでご承知ください。

## 幹事報告

山田 昌雄 幹事



11月9日(土)、11月10日(日)に2013-2014年度国際ロータリー第2790地区 地区大会に出席しました。場所は東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾートです。関口徳雄ガバナー以下浦安ロータリークラブの皆様の熱烈歓迎に心からお礼申し上げます。当日小規模クラブ会員増加の表彰を受けます。

さて、浦安と言うと私事ですが今でも忘れられない思い出があります。浦安は昭和40年代に漁業権放棄して現在の姿に変わってきたわけです。ただ、漁業協同組合は50年代までまだ残っていました。その組合の解散、清算を担当させられたのが当時30代前半の自分でした。信じられないでしょうが、千葉から1時間半かかる陸の孤島だったわけです。

でもこれが楽しい小旅行だったのです。なぜかと言うと出社に及ばず「直行・直帰」で良いとのことでした。当然ですよ。本当は漁業権放棄させた当時の偉い人たちが行くべきなのに私ごときの小役人に任せられたわけです。

ところが人間は何が幸いするかわかりません。当時の組合長は宇田川さんと記憶しています。産業課長が後に初代市長となる熊川さんだったのです。お気づきかと思いますが両川なのです。川なくして浦は安んぜずということだと思えます。

皆さんは築地というと江戸、いや日本の台所というのをご存知と思いますが、実は築地の問屋さんの

ルーツを探るとほとんどが浦安の漁師の2・3男なのだそうです。

宇田川さんの話に戻りますが、この人が大変な人だったのです。私が最初に会った時は40代位の女性の事務員が一人、ぼろぼろの事務所にて「父つあんお客だよ」と言うどどを着た60代と思われる男が現れました。それが宇田川さんだったわけです。あにしに来たかと言われたので手伝いに来ましたと言いました。そうしたら、手伝いだったら猫でも大事にしろ、すぐ茶を入れろと言ったのですが、まさか解散の手伝いとは思わなかったでしょう。

その後色々ありましたが、なぜか私のことを気に入ってくれまして、仲の悪かった市川・船橋との調整まで引き受けてくれました。そこから本当の付き合いが始まったわけですが彼氏は一滴も酒を飲まず大酒飲みの私が代理を務めました。ただ、今でいう食通の域を通り越えてどこで何を喰えばいいのかを教えてくださいました。今残っているかどうかわかりませんが、寿司は「いろは寿司」「建寿司」この2店。なかでも思い出に残っているのが天ぷら、小料理の「橘屋」です。日本画家平山先生を初めとして、多くの文化人の色紙があったことを覚えています。飯が喰えなかった若い芸術家を最高の味でもてなしたのが店主の心意気だったのでしょうか。いずれにしても、すしの食いは脂の無いものから始めて煮物、つけ物、まぐろとろと行くのが本当だと教わりました。

ロータリーの心については会長のすばらしい頭脳に感謝しつつ、その言葉にお任せいたしまして、関口ガバナーに再度心より御礼申し上げます。

ちなみに、浦安漁業協同組合の後継者約10名が富津沖漁業協同組合浦安支所を結成し今も漁業をしているそうです。富津と浦安の深い絆を思い浮かべながら本席に臨んでいます。



水仙

## 結婚祝



石渡 鋼・栄子 S47. 11. 5

## 結婚祝一言

石渡 鋼 会員



記念日のお祝は鹿児島黒焼き豚でした。

あれから40年くらいでしょうか、(同期の白石会員より、42年ですよの声)結婚式は今日再生成った鹿野山のホテル、そして新婚旅行は初めての海外八丈島に決め、式後東京銀座のホテルから羽田より飛行機(YS11)での切符を手配しました。

そして翌朝身支度をしながら何気なく見た TV 画面は遠方よりの固定カメラで写された羽田空港の風景。これから行くところの景色なかなか良いタイミングと思いきや、なんとアナウンサーの「ただ今ハイジャックされた JAL 機? が勝浦上空より羽田に戻ってきます」の音声にびっくり。電話で問い合わせるも混乱しているのか、航空会社も要を得ず、とにかく羽田に行ってみようということにして、タクシーで高速に乗るも羽田方向はびっしりの渋滞。ところがこのタクシー君、我々の状況を察するや、追い越してきたパトカーの後ろにぴったり付き、右へ左へ一般車両を除けて追走するではないか、肝を冷やしながら左手に飛行場が見える辺りに来ると、それもかなわなくなりストップ状態となりました。

仕方なく空港閉鎖なら船があると考えて、浜松町

の棧橋へ。東海汽船は夜11時発、「今夜はシケ模様の為着岸出来ない時は引き返す」の条件販売、今なら止めたであろうに、ハネムーンナイトクルーズも悪くはないと、しかし船は東京湾を出たあたりから揺れ始め、大島・三宅島等寄港しながら外洋へ出るや、夜行列車の寝台みたいなベッドの上を右左に滑り、頭と足が木柵交互にぶつかり、やがては船室の丸い窓から海中が見え隠れ、大丈夫かと内心思うも口には出さずひたすら八丈島着岸を待つ。やがて外が明るくなり新妻の手を引いてデッキに出て深呼吸、やれやれと思うのも束の間、下からこみ上げてくるなにか、顔から血が引いて行くのが判る、こりゃだめだ、今度は新妻に手をひかれて急ぎ部屋に戻るや背中をさすって、いや叩かれて介抱される始末に、一瞬この先を案じた愚生でありました。

文字通り波乱万丈のスタートから42年、あの時の予感が当たっていたと思い出させる結婚記念日祝い、有難うございました。

## ご挨拶

関口 徳雄 ガバナー



皆様、今日は。国際ロータリー第2790地区ガバナーの関口徳雄です。所属は浦安ロータリークラブです。

皆様、既に御案内のとおり、本年度 RI 会長ロン・D・バートン会長が提唱したテーマは「Engage Rotary, Change Lives」日本訳として「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」というものです。

更に、この意味を以下のように申しております。

ロータリーの奉仕では、努力すればするほど多くを得ることができ、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日々活かす決意をすれば、自分がいかに素晴らしい影響をもたらすことができるか分かるはず。そうすることによって、初めて

人々の人生を真に豊かにしようとするやる気・パワーが湧いてくるのです。そして何よりもあなた、つまりロータリアン自身の人生が豊かになるはずです。

このフレーズは、アーサー・シェルドンの説いた「He(One) profits most who serves Best」つまり、奉仕の理念の第二標語に通ずるものとして、私は勝手に解釈しまして地区セミナーで申し上げたのですが、後に6月の広島平和フォーラムの席上で私の同期のガバナーエレクトがロンバートン氏に質問したそうです。その時、同氏は、この「He(One) profits most who serves Best」と第二標語は同じ意味だと答えたそうです。

私の本年ガバナーとしての地区運営の方針等につきましては、三大セミナーで申し上げ、又、活動計画書にも記載してあります。

〈元気なクラブを目指して〉(例会は、楽しく且つ緊張あるものに・・・！)

奉仕と親睦(友愛)は、ロータリーの2本柱であり、車の両輪であることは過去幾多の先輩ロータリアンが繰り返し述べているところです。そして、奉仕と親睦の両輪が競うように力強く回っている状態をロータリーでは「元気なクラブ」と言います。

「親睦」と「親睦活動」を混同する方も多いようですが、両者は違います。

親睦とは、申すまでもなく「奉仕の心」を作り出すための例会における諸活動であります。ロータリアン個人の心と心が結合した過程であって、互いに切磋琢磨しながら自らの人格を磨きあう状態を表す概念であります。従って、例会の位置づけが最も大切になります。

そのためには、会員卓話にもひと工夫が必要でしょう。マンネリ化した事務的な卓話ではなく、時にはユーモア、ウイット、そしてジョークに富んだ話の中で、奉仕の理念の真髄に迫る研ぎ澄まされた卓話が求められます。

そして、私が各クラブに求める例会の在り方は「例会は楽しく且つ緊張あるものに・・・！」です。

更に今年度は今一歩進め、「会員に奉仕の心を増強させる一つの機会として」ゴルフ・野球・テニスその他ロータリアンの趣味の世界、即ち、親睦活動を推奨したいと思います。これら趣味の中で、会員同士の深い絆を築いて欲しいと思います。それは

結果的に退会防止に繋がるからです。そして、私は次のように申し上げたい。「ロータリーに潤いを、そして活力を・・・！」と。

〈ロータリーを知らずに退会していく3年未満の新会員の問題〉

2年か3年かはともかく、各地区で新会員がロータリーの何たるかを知ることなく辞めてゆく問題がクローズアップされております。そして、当地区においても然りです。

それを防止する手段の一つとして、会員研修が必要であると思います。

本年度は、早急にガバナー補佐の協力のもと、地区研修リーダー主催による情報研究会を実施しますが、目的は各クラブのベテランロータリアンによる新入会員へのオリエンテーションの実施を指します。必ず実施して下さい。

前述の親睦活動による会員同士の絆に加え、退会防止へと繋げたいと思います。

〈職業奉仕と他の奉仕活動の関係〉

私の極めて個人的な考えですが、職業奉仕委員会は、奉仕活動というより職業を通じた自己研鑽委員会とでもいうべきものではないかと思えます。

純粹にロータリアン個人にとっての職業奉仕をかんがえた場合、これは極めて道徳的、哲学的なものであり自己研鑽に励むことが中心であって、特定のプロジェクトのように外部からハッキリと見えるものではありません。

しかし、この職業奉仕は、「ロータリアンの基本」あるいは「ロータリーの心」と言われているものですから、絶対に失念することはできないのであります。

要するに、職業奉仕については、ロータリアン一人一人が大事にし、これを奉仕活動の要ないし基礎として捉え、常に振り返る必要があるのです。

つまり職業奉仕は、これを除く四大奉仕の精神的支柱(バックボーン)であって、キリスト教の聖書、仏教の経典の如きものではないかと思えます。(多分、異論があるかと思えますが・・・)

〈ロータリアン全てが職業奉仕を理解しなければならない理由〉

職業奉仕について意味内容定義はともかくとして、「なぜ我々は職業奉仕を理解しなければならないのか？」ですが、ロータリーが他の奉仕団体と異

なるのは、この職業奉仕という独特の奉仕活動を持っていることです。

この点については、全てのロータリアンが認めることだと思います。

そうしますと、当然のことながら、ロータリアン一人一人が「職業奉仕とは何なのか」「職業奉仕が如何なるものか」ということについて十分に理解しておく必要があります、ロータリーの内外からいつでも誰に対しても(自らの見解とし)職業奉仕を説明できなければならないのです。

ひるがえって、新入会員に対しても、ベテランロータリアンがしっかりとオリエンテーションを実施して、この点を認識させ、職業奉仕を理解させなければならないのです。

ついでながら、職業奉仕を更に深く理解するためには、その「対となる」ところの社会奉仕を正しく理解しないと、結局のところ、職業奉仕と社会奉仕の区別がつかなくなってしまうのです。

そこで、職業奉仕と社会奉仕を厳密に分ける必要が生じてくるのです。そして、当然のことながら「I serve」か「We serve」かの区別にも関連します。

〈私が考える職業奉仕とは〉

極めて抽象的な表現ですが、「自分の仕事の中で、奉仕の理念を追求すること」に尽きると思います。あくまで個人がなす事です。具体的に申しますと、

ロータリアンとしては、先ず第一に自分の仕事をコツコツと一生懸命行うことです。そのためには、自分の仕事に誇りと責任を持ち、又、常に職業倫理的・道徳的水準の向上を図らなければなりません。

第二に、他の人の仕事の価値観も同時に認めることです。

第三に、自分の仕事の腕を社会に役立てる事です。

その際の手法は、奉仕の理想(理念)を目標に、2つの標語

超我の奉仕 - 弱者を助ける人道的な奉仕活動

He profits most who serves best - 事業の継続的な繁栄を願う職業奉仕理念

を胸に秘め、4つのテストを秤(計り)として、8つの行動規範に基づいて行うことであります。

では、クラブを何をすべきかと言うと、クラブは、こ

の模範となるような実例を示したり、クラブ会員が自己の職業上の腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって自己の目標を実践できるように推奨することです。

## ニコニコBOX

石渡鋼 親睦担当部長

\* 関口ガバナー、\* 堀内ガバナー補佐

ガバナー、ガバナー補佐をお迎えして

大網、白石、原田、山田、渡辺、平野、榎本、石渡、高橋、志波、須藤、小野、若鍋、高島

\* 石渡 鋼 結婚祝を頂いて

大網 庄一郎 130人のゴルフコンペで5位入賞

「うなぎを頂きました。」

\* >1,000 円 合計 26,000 円

## 出席報告

白石幸久 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	21/18	15	3		83.33%
前回	21/19	16	3		84.20%

以上で例会は終了、別室にて写真撮影後、13時40分からクラブ協議会が行われた。

クラブ協議会の様子



クラブ協議会では、富津中央ロータリークラブ各会員と、関口ガバナー、堀内ガバナー補佐との間で、各議題ごとに熱い討論が繰り広げられ、自由活発な意見交換がなされました。

(平野 安照)



2013-14年度 ガバナー公式訪問